

掩体壕跡埋め戻しへ

東区 所有者ら維持管理困難

熊本市に調査などを

求めていた掩体壕跡

の竹林を伐採した際

に発見した。

(同市東区)の土地所有

者らが、維持管理の難

しきなどから遺構を埋

め戻すことになった。

掩体壕は、太平洋戦

争中に敵襲から飛行機

を隠すために造られた

構造物。その遺構を1

月、所有者の古閑宏二

を、4月に市に申し入

郎さん(56)が、自宅近

くの竹林を伐採した際

に発見した。

市民団体「くまもと

戦争遺跡・文化遺産ネ

ットワーク」が調査。

旧健軍飛行場関連の唯

一の遺構で、保存状態

も良好だったため、発

掘調査による記録保存

を、4月に市に申し入

れていた。

しかし、当初の予想

より維持管理費がかか

ることが分かり、市か

ら「調査は難しい」と

の意向が伝えられたた

め、埋め戻すことにし

たという。同ネットの

高谷和生代表(63)＝玉

名市＝は「市に継続調

査をお願いしたかった

が、残念だ」と話した。

(臼杵大介)



掩体壕跡の埋め戻しに向け、周辺の竹の根を掘り起こした作業現場＝熊本市東区